



舌喰池

ため池の主な諸元

所在地	上田市大字手塚
築造年	不詳(増築1622年)
かんがい面積	50ha
有効貯水量	137,900m ³
堤高	7.0m
堤長	485.0m

舌喰池の民話

舌喰池には悲しい伝説があります。昔この池が造られた頃、土手から水が漏れて、十分に水を溜めることができませんでした。そこで池の改修をするにあたり、土手に「人柱」を入れなければ水が溜まらないという話がどことなく伝わってきました。人柱とは、生きた人を土中に埋めて祈ることです。だれもが真剣に悩んだ結果、くじ引きで決めることになり、村はずれに一人で住んでいる美しい娘さんが人柱に選ばれました。

娘さんは、日夜悲しみに明け暮れていましたが、人柱に立つ前の晩、身の不運を嘆いて舌を食い切り、池に身を投げて死んでしまいました。

このような悲しいできごとがあってから、村人たちはこの池を「舌喰池」と呼ぶようになりました。

